

愛別地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域 : 北海道上川郡愛別町
- (2) 受益面積 : 1,253ha
- (3) 事業目的 : 区画整理 1,253ha
- (4) 主要工事計画 : 区画整理 1,253ha
- (5) 国営事業費 : 24,500百万円
- (6) 工 期 : 平成28年度～平成42年度

2. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位: 千円)

区 分	算定式	数 値
総費用 (現在価値化)	①=②+③	19,434,785
当該事業による整備費用	②	17,246,495
その他費用 (関連事業費+資産価額+再整備費)	③	2,188,290
評価期間 (当該事業の工事期間+40年)	④	55年
総便益額 (現在価値化)	⑤	25,072,782
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.29

(2) 総費用の総括

(単位: 千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工 時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全費 ・再整備費 ④	評価期間 終了時点の 資産価額 ⑤	総費用 ⑥=①+②+ ③+④-⑤
当 該 事 業	区画整理	157,289	17,246,495	-	1,413,895	511,244	18,306,435
	計	157,289	17,246,495	-	1,413,895	511,244	18,306,435
	その他	190,028	-	-	1,052,912	114,590	1,128,350
合 計		347,317	17,246,495	-	2,466,807	625,834	19,434,785

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年総効果 (便益)額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		512,059	区画整理及び区画整理に伴う用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		270,349	区画整理及び区画整理に伴う用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持・向上する効果
営農経費節減効果		421,298	区画整理及び区画整理に伴う用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 2,825	区画整理及び区画整理に伴う用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果			
耕作放棄防止効果		14,335	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		61,644	区画整理及び区画整理に伴う用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合計		1,276,860	

(4) 総便益額算出表

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t	経過年 (^t)	作物生産効果						割引後 効果額合計 (千円)	備考
				更新分に 係る 効果	新設及び機能向上分に 係る効果				計		
					年効果 額 (千円) ②	年効果 額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④			
0	H27	1.0000	0								評価年
1	H28	1.0400	1	423,467	88,592	0	0	423,467	407,180	728,394	
2	H29	1.0816	2	423,467	88,592	0	0	423,467	391,519	700,379	
3	H30	1.1249	3	423,467	88,592	5.6	4,961	428,428	380,859	699,273	
4	H31	1.1699	4	423,467	88,592	15.2	13,466	436,933	373,479	714,992	
5	H32	1.2167	5	423,467	88,592	25.5	22,591	446,058	366,613	731,453	
6	H33	1.2653	6	423,467	88,592	34.8	30,830	454,297	359,043	741,529	
7	H34	1.3159	7	423,467	88,592	44.4	39,335	462,802	351,700	750,903	
8	H35	1.3686	8	423,467	88,592	53.6	47,485	470,952	344,112	756,897	
9	H36	1.4233	9	423,467	88,592	62.1	55,016	478,483	336,179	758,823	
10	H37	1.4802	10	423,467	88,592	69.8	61,837	485,304	327,864	756,671	
~~~~~											
55	H82	8.6464	55	423,467	88,592	100	88,592	512,059	59,222	147,674	
合計(総便益額)									10,782,382	25,072,782	

※経過年は評価年からの年数

※作物生産効果額を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「愛別地区の事業の効用に関する詳細」を参照

### 3. 効果額の算定方法

#### (1) 作物生産効果

##### ○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

##### ○対象作物

水稻(うるち米)、水稻(もち米)、飼料用米、稲発酵粗飼料用稲、小麦、大豆、そば、青刈りとうもろこし、小豆、アスパラガス、きゅうり、かぼちゃ、スイートコーン

##### ○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^{\ast 1} + \text{作付増減年効果額}^{\ast 2}$$

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単収			生産増減量 ③=①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益 ⑤=③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果算定対象単収 ②					
水稻(うるち米)	新設	ha 535	ha 471	ha 212 △ 64	単収増(乾田化) 作付減	kg/10a 548	kg/10a 563	kg/10a 33	t 70.0	千円/t 201	千円 14,070	% 81	千円 11,397
	更新	535	535	535	単収増(水管理改良) 水稻計(うるち米)	230	548	318	1,701.3	201	341,961 285,540	81	276,988 281,336
水稻(もち米)	新設	281	246	111 △ 35	単収増(乾田化) 作付減	548	563	33	36.6	201	7,357	81	5,959
	更新	281	281	281	単収増(水管理改良) 水稻計(もち米)	230	548	318	△191.8	201	△38,552	10	△ 3,855
飼料用米	新設	21	100	7 79	単収増(乾田化) 作付増	548	559	33	2.3	34	78	-	-
	更新	21	21	21	単収増(水管理改良) 飼料用米計	230	548	318	441.6	34	15,014	-	-
											2,271	-	-
											17,363	-	-
新設		1,199	1,200								110,086		88,592
更新		885	885								525,421		423,467
合計											635,507		512,059

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「愛別地区の事業の効用に関する詳細」を参照

事業を実施した場合、農用地や水利条件の改良等が図られることから、立地条件の好転(乾田化、乾畑化)、作付増減及び既存の施設が更新されることに伴う生産維持に係る作物生産量の増減効果を見込むものとした。

【新設】

- ・作付面積 : 「現況作付面積」は、関係町の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」は、関係町及びJAの農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・単収 : 「事業なかりせば単収」は現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「事業ありせば単収」は計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。

【更新】

- ・作付面積 : 現況施設の下で作物生産量が維持される面積であり、「現況作付面積」は関係町の作付実績に基づき決定し、「計画作付面積」は現況=計画とした。
- ・単収 : 「事業なかりせば単収」は用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。  
「事業ありせば単収」は現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「効果算定対象単収」は事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。

【共通】

- ・生産物単価 : JA聞き取りによる最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。

- ・純益率 : 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。
- ・小数点以下を四捨五入していることから、増加粗収益等の記載値は計算結果と合わない場合がある。

## (2) 品質向上効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻（うるち米）、水稻（もち米）

### ○年効果額算定式

年効果額 = 効果対象数量 × 単価向上額

### ○年効果額の算定

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新 ①	新設 ②	事業なかりせば ③	現況 ④	事業ありせば ⑤	現況－事業なかりせば ⑥= ④－③	事業ありせば－現況 ⑦= ⑤－④	現況－事業なかりせば ⑧= ①×⑥	事業ありせば－現況 ⑨= ②×⑦	計 ⑩= ⑧＋⑨
水稻 (うるち米)	湿潤 かんがい	t 1,231	t —	千円/t 58	千円/t 201	千円/t 201	千円/t 143	千円/t —	千円 176,033	千円 —	千円 176,033
水稻 (もち米)	湿潤 かんがい	646	—	55	201	201	146	—	94,316	—	94,316
新設										—	—
更新									270,349		270,349
合計											270,349

### 【更新】

- ・効果対象数量 : 「事業なかりせば」の下での生産量。
- ・生産物単価 : 「現況単価」はJA聞き取りによる最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。  
「事業なかりせば単価」は、JA聞き取りによる最近5か年の屑米の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。

### (3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻(うるち米)、水稻(もち米)、飼料用米、稲発酵粗飼料用稲、小麦、大豆、そば、青刈りとうもろこし、小豆、アスパラガス、きゅうり、かぼちゃ、スイートコーン

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業なかりせば単位面積当り営農経費} - \text{事業ありせば単位面積当り営農経費}) \times \text{効果発生面積}$$

○年効果額の算定

算定例：水稻(うるち米)(区画整理：作付体系の変化や機械利用効率の向上による経費の増減)  
 水稻(うるち米)(用水改良：水管理作業・防除作業に要する経費の増減)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤=(①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
水稻(うるち米) (区画整理)	円 933,830	円 572,585	円 -	円 -	円 361,245	ha 471	千円 170,146
水稻(うるち米) (用水改良)	-	-	860,094	933,830	△73,736	535	△39,449
水稻(もち米) (区画整理)	933,830	569,335	-	-	364,495	246	89,666
水稻(もち米) (用水改良)	-	-	860,094	933,830	△73,736	281	△20,720
飼料用米 (区画整理)	933,830	455,262	-	-	478,568	100	47,857
飼料用米 (用水改良)	-	-	860,094	933,830	△73,736	21	△1,548
~~~~~							
新設							403,399
更新							17,899
合計							421,298

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「愛別地区の事業の効用に関する詳細」を参照

【新設】

- ・事業なかりせば営農経費(①)：実態調査等を基に算定した。
- ・事業ありせば営農経費(②)：事業なかりせば営農経費を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

【更新】

- ・事業なかりせば営農経費(③)：事業ありせば営農経費を基に、事業なかりせば想定される水管理作業に係る経費の減少及び防除作業に係る経費の増加を反映し算定した。
- ・事業ありせば営農経費(④)：実態調査等を基に算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、取水口、用水路、排水路

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば維持管理費 ①	事業ありせば維持管理費 ②	年効果額 ③=①-②
新設整備	千円 11,585	千円 9,258	千円 2,327
更新整備	6,433	11,585	△ 5,152
合 計			△ 2,825

【新設】

- ・ 事業なかりせば維持管理費 (①) : 施設の実績維持管理費を基に算定した。
- ・ 事業ありせば維持管理費 (②) : 施設の実績維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

【更新】

- ・ 事業なかりせば維持管理費 (①) : 施設の実績維持管理費を基に、施設の機能を失った場合において安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・ 事業ありせば維持管理費 (②) : 施設の実績維持管理費を基に算定した。

(5) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合(事業なかりせば)に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産の総効果額
×還元率

○年効果額の算定

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定期間	還元率 ②	年効果額 ③=①×②
新設整備	千円 317,140	0.04	年 55	0.0452	千円 14,335

【新設】

- ・ 総効果額 (①) : 単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。
- ・ 還元率 (②) : 総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

(6) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay : 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method : 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻 (うるち米)、水稻 (もち米)、飼料用米、稲発酵粗飼料用稲、小麦、大豆、そば、青刈りとうもろこし、小豆、アスパラガス、きゅうり、かぼちゃ、スイートコーン

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{年増加粗収益額} \times \text{単位食料生産額当たり効果額}$$

○年効果額の算定

区 分	増加粗収益額 ①	単位食料生産額当たり効果額 (効果額/食料生産額) ②	当該土地改良事業に おける効果額 ③=①×②
新設整備	千円 110,086	円/千円 97	千円 10,678
更新整備	525,421	97	50,966
合 計			61,644

増加粗収益額

(①) : 作物生産効果の算定過程で整理した作物生産量を基に、事業ありせば増加粗収益額及び事業なかりせば増加粗収益額を整理した。

単位食料生産額当たり効果額 (②) : 年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額は一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、97円/千円 (原単位) とした。

4. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課(監修)(2007)「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社(平成20年3月31日一部改正、平成21年3月31日一部改正、平成26年3月27日一部改正)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について(平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知(平成27年3月27日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について(平成27年3月27日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐(事業効果班)事務連絡)

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道開発局旭川開発建設部調べ

【便益】

- ・農林水産省北海道農政事務所(平成22年～平成26年)「北海道農林水産統計年報」北海道農林統計協会
- ・厚生労働省(平成25年～平成26年)「毎月勤労統計調査」
- ・「国産農産物安定供給効果」について(平成27年3月27日付け農林水産省農村振興局整備部長通知)
- ・効果算定に必要な各種諸元については、北海道開発局旭川開発建設部調べ

平成28年度新規地区採択チェックリスト

(2) 国営農地再編整備事業

(局名：北海道開発局) (地区名：^{あいべつ}愛別)

特定監視項目

1. 農地整備工事の諸条件
・地形、地質、水利条件等に基づいた農地整備計画としている。
地区内のほ場の地形条件を図面にて把握し、地域を代表するほ場において区画整理の基本設計を行った。また、地力保全基本調査成績書（昭和48年度、北海道立中央農業試験場）を基に選定した地区内の代表地点において土壌調査を実施し、その結果を基に暗渠排水、除礫の整備計画を策定した。

愛別地区の事業の効用に関する詳細
2(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)		割引後 効果額 合計 (千円)	備考
	H27	1.0000	0			評価年
1	H28	1.0400	1		728,394	
2	H29	1.0816	2		700,379	
3	H30	1.1249	3		699,273	
4	H31	1.1699	4		714,992	
5	H32	1.2167	5		731,453	
6	H33	1.2653	6		741,529	
7	H34	1.3159	7		750,903	
8	H35	1.3686	8		756,897	
9	H36	1.4233	9		758,823	
10	H37	1.4802	10		756,671	
11	H38	1.5395	11		756,198	
12	H39	1.6010	12		757,965	
13	H40	1.6651	13		746,563	
14	H41	1.7317	14		730,748	
15	H42	1.8009	15		709,012	
16	H43	1.8730	16		681,719	
17	H44	1.9479	17		655,505	
18	H45	2.0258	18		630,298	
19	H46	2.1068	19		606,067	
20	H47	2.1911	20		582,749	
21	H48	2.2788	21		560,322	
22	H49	2.3699	22		538,782	
23	H50	2.4647	23		518,059	
24	H51	2.5633	24		498,132	
25	H52	2.6658	25	各効果における「同左割引後」の合計	478,978	
26	H53	2.7725	26		460,544	
27	H54	2.8834	27		442,832	
28	H55	2.9987	28		425,804	
29	H56	3.1187	29		409,420	
30	H57	3.2434	30		393,680	
31	H58	3.3731	31		378,542	
32	H59	3.5081	32		363,975	
33	H60	3.6484	33		349,979	
34	H61	3.7943	34		336,519	
35	H62	3.9461	35		323,574	
36	H63	4.1039	36		311,134	
37	H64	4.2681	37		299,165	
38	H65	4.4388	38		287,660	
39	H66	4.6164	39		276,592	
40	H67	4.8010	40		265,958	
41	H68	4.9931	41		255,725	
42	H69	5.1928	42		245,890	
43	H70	5.4005	43		236,433	
44	H71	5.6165	44		227,341	
45	H72	5.8412	45		218,594	
46	H73	6.0748	46		210,189	
47	H74	6.3178	47		202,105	
48	H75	6.5705	48		194,333	
49	H76	6.8333	49		186,859	
50	H77	7.1067	50		179,669	
51	H78	7.3910	51		172,758	
52	H79	7.6866	52		166,114	
53	H80	7.9941	53		159,726	
54	H81	8.3138	54		153,583	
55	H82	8.6464	55		147,674	
合計(総便益額)					25,072,782	

愛別地区の事業の効用に関する詳細

3 (1) 作物生産効果 - 1

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤= ③×④	純 益率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
水稻 (うるち米)	新設	535	471	212	単収増 (乾田化)	548	563	33	70.0	201	14,070	81	11,397
				△ 64	作付減	-	-	548	△ 350.7	201	△ 70,491	10	△ 7,049
	更新	535	535	535	単収増 (水管理改良)	230	548	318	1,701.3	201	341,961	81	276,988
					計						285,540		281,336
水稻 (もち米)	新設	281	246	111	単収増 (乾田化)	548	563	33	36.6	201	7,357	81	5,959
				△ 35	作付減	-	-	548	△ 191.8	201	△ 38,552	10	△ 3,855
	更新	281	281	281	単収増 (水管理改良)	230	548	318	893.6	201	179,614	81	145,487
					計						148,419		147,591
飼料用米	新設	21	100	7	単収増 (乾田化)	548	559	33	2.3	34	78	-	-
				79	作付増	-	-	559	441.6	34	15,014	-	-
	更新	21	21	21	単収増 (水管理改良)	230	548	318	66.8	34	2,271	-	-
					計						17,363		-
稲発酵粗飼料用稲	新設	40	60	20	作付増	-	-	1,904	380.8	15	5,712	-	-
					計						5,712		-
小麦	新設	25	46	25	単収増 (乾田化)	269	315	46	11.5	46	529	61	323
				21	作付増	-	-	315	66.2	46	3,045	-	-
						計					3,574		323
大豆	新設	48	91	48	単収増 (乾田化)	238	295	57	27.4	67	1,836	63	1,157
				43	作付増	-	-	295	126.9	67	8,502	-	-
	更新	48	48	48	単収増 (湿潤かんがい)	189	238	49	23.5	67	1,575	63	992
					計						11,913		2,149
そば	新設	130	66	66	単収増 (乾田化)	78	96	18	11.9	175	2,083	45	937
				△ 64	作付減	-	-	78	△ 49.9	175	△ 8,733	-	-
						計					△ 6,650		937
青刈りとうもろこし	新設	90	90	90	単収増 (乾田化)	4,755	5,849	1,094	984.6	18	17,723	86	15,242
					計						17,723		15,242
水田計	新設	1,170	1,170								△ 41,827		24,111
	更新	885	885								525,421		423,467

愛別地区の事業の効用に関する詳細

3 (1) 作物生産効果 - 2

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ① × ② ÷ 100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤ = ③ × ④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせば 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
そば	新設	ha 5	ha -	ha △ 5	作付減 計	kg/10a -	kg/10a -	kg/10a 78	t △ 3.9	千円/ t 175	千円 △ 683	% -	千円 -
					単収増 (乾畑化)	153	190	37	0.7	360	252	84	212
小豆	新設	2	3	2	作付増 計	-	-	190	1.9	360	684	20	137
				1	単収増 (乾畑化)	-	-	190	1.9	360	684	20	137
アスパラガス	新設	7	8	7	作付増 計	-	-	349	3.5	1,019	3,567	19	678
				1	単収増 (乾畑化)	284	349	65	4.6	1,019	4,687	79	3,703
きゅうり	新設	9	11	9	作付増 計	-	-	16,423	328.5	229	75,227	9	6,770
				2	単収増 (乾畑化)	13,352	16,423	3,071	276.4	229	63,296	81	51,270
かぼちゃ	新設	3	4	3	作付増 計	-	-	1,264	12.6	117	1,474	9	133
				1	単収増 (乾畑化)	1,028	1,264	236	7.1	117	831	81	673
スイートコーン	新設	3	4	3	作付増 計	-	-	814	8.1	203	1,644	9	148
				1	単収増 (乾畑化)	662	814	152	4.6	203	934	81	757
普通畑計	新設	29	30								151,913		64,481
	更新	-	-								-		-
新設		1,199	1,200								110,086		88,592
更新		885	885								525,421		423,467
合計											635,507		512,059

